

令和5年度
事業報告

自 令和 5年4月 1日
至 令和 6年3月31日

公益社団法人京都染織文化協会

令和5年度 事業報告

1. 会員の加入及び退会

	期首	加入	退会	期末
会員数	38	0	1	37

加入商社：なし

退会商社：丸昭(株)

2. 会務

■第75期通常総会

令和5年 5月23日	からすま京都 ホテル	1. 令和4年度事業報告承認の件 2. 令和4年度決算報告承認の件 3. 令和5年度事業計画(案)承認の件 4. 令和5年度収支予算(案)承認の件 5. 定款の別表変更の件 6. 役員改選の件
---------------	---------------	---

■理事会

令和5年 4月27日	京都経済センター	1. 令和4年度事業報告の件 2. 令和4年度収支決算報告の件
---------------	----------	------------------------------------

6月12日	書面決議	1. 理事長、副理事長及び常務理事の選任について
-------	------	--------------------------

9月15日	書面決議	1. KPA 京都プリント振興協会主催『メイキング・ワークショップ2024』に対する当協会の共催名義使用許可並びに助成金(50万円)の交付承認について
-------	------	---

令和6年 3月14日	からすま京都 ホテル	1. 令和6年度事業計画(案)の件 2. 令和6年度収支予算(案)の件 3. 代表・業務執行理事の職務執行報告の件 4. 第76期通常総会日程の件(5月21日於：からすま京都ホテル2F 桃李) 5. 定期預金を原資とした公債等購入に係る事前承認の件(資産運用委員会)
---------------	---------------	---

3. 実施事業

■公益事業

(1) 染織文化資源の保全と啓発事業

当協会が基本財産に位置付ける「染織祭衣装」と「全国染織産地合同制作布地」を保全するとともに、これら所蔵資料にみる染織技術の公開や資料そのものの一般公開により一般社会に伝える知識普及・啓発を目的とし、下記事業に取り組んだ。

*「染織祭」の詳細調査並びに公開

当事業は、昭和6年～26年に挙行された染織祭について北野裕子氏(龍谷大学 非常勤講師)に調査を依頼し、現存する史料や文献、ヒアリングなどから当時の社会・経済背景、染織祭挙行の経緯、衣装制作の詳細を明らかにすることで、いまだ認知の薄い染織祭と復元女性時代衣装の存在を一般の方々に広く知ってもらい、染織文化・染織技術を継承する目的で取り組んでおり、今年度は次の通り調査を行った。

<今年度調査先>

- ・文献調査—国立国会図書館・関西館、国立国会図書館デジタルコレクション
- ・資料調査—(一財)京都染織会館、京都府京都文化博物館、京都丸紅(株)

<調査成果>

- ・6/13 に(一財)京都染織会館に於いて旧吉川観方コレクションと染織祭衣装の関連性について調査し、10点の衣装がコレクションを参考にしたことを確認した。
- ・7/11 に国立国会図書館・関西館に於いて文献調査を行い、昭和初期当時の雑誌や書籍から染織祭挙行の様子や掲示物、絵画作品などの新たな資料を収集した。
- ・10/27 に京都府京都文化博物館に於いて国会図書館調査で判明した染織祭を描いた絵画作品「染織祭の感想」(太田喜二郎作)の詳細と行方について同館学芸員協力のもと調査を行った。
- ・12/25 に京都丸紅(株)内に於いて、丸紅商店京都支店当時がわかる所蔵文献から染織祭に関わる記述の有無、丸紅コレクションと染織祭衣装の関連性についての調査を行った。
- ・調査により明らかになった内容は、当協会ウェブサイト並びにインターネット上で展開するフリー百科事典『Wikipedia』に追加掲載して一般社会に啓発した。
- ・ウェブサイト上に「染織祭調査ブログ」を新たに立ち上げ、一般社会に広く情報提供を呼び掛けるとともに、調査内容の公開を行い、協会活動の啓発を行った。

<入手資料>

染織祭・染織祭衣装調査のために下記資料を購入した。

- ・「季刊 染織と生活 17号」(昭和52年 染織と生活社発行)／Yahoo オークション
- ・染織祭記念煙草パッケージ「ひかり」／Yahoo オークション

* 染織祭衣装台帳のデータベース化

当協会が衣装と共に所蔵する 143 領分の台帳は、すべて手書きで作成されているため、内容や画像をデータベース化して端末上で管理することで利便性を図った。

<今年度の取り組み>

- ・検索フォームの作成並びにデジタル台帳の運用開始

* 染織祭関係史料の公開

当協会が保管する染織祭関係史料データをウェブサイト上で公開した。

<今年度公開史料>

- ・会議一件(昭和 14 年以降) 184 ページ
- ・庶務一件(昭和 14 年) 136 ページ

* 染織技術アーカイブの作成に伴う資料調査と公開

当事業は所蔵資料に使われた染織技術の記録と解説を行い、その内容をウェブサイト上で染織技術アーカイブとして纏めて公開する目的で行っており、今年度は次の通り公開した。

(新規公開内容)

「全国染織産地合同制作布地」

1997/1998 年秋・冬物向婦人用布地 22 点、1998 年春・夏物向婦人用布地 15 点

公開技術「織る」……サッカー、タフタ、楊柳、変わり織

「編む」……トリコット

「装飾・加工」……加工糸

※染織祭衣装に関わるアーカイブは平成 29 年度をもってすべて公開済。

* 染織祭衣装の補修・修繕並びにレプリカ制作

◎補修・修繕

当協会が設定する「傷みの 5 段階評価」に基づき、下記の通り、補修・修繕を行った。

<対象衣装>

鎌倉時代 9 号「桂」

<依頼先>

松下装束店(京都市中京区)

◎レプリカ制作

衣装の劣化に伴う将来の備えとして、また職人による技術復興・継承の機会としてレプリカの制作を 2 年計画で行った。

<対象衣装> ※令和 5 年度(一財)京都染織会館助成金対象事業

江戸時代初期 2 号「白縮緬地竹垣団扇文様振袖」の制作/2 年計画の 2 年目

<協力先>

京鹿の子絞振興協同組合／京都府織物・機械金属振興センター

<今年度の取り組み>

- ・墨絵、金彩、刺繍、仕立ての工程を経て、令和6年3月19日に完成した。
- ・「京鹿の子絞工芸展 美の再認識」(2023.8/25-27 於：京都市京セラ美術館)において令和3年度完成の室町時代9号の新旧衣装の展示並びに制作工程ビデオの公開を行った。

*** 所蔵資料貸付協力**

◎京都市営地下鉄「伝統工芸車両」への画像提供協力

依頼先 京鹿の子絞振興協同組合

目的 当協会画像による京鹿の子絞の紹介

提供画像 室町時代5号・9号

◎新唐人テレビ(中国)への動画提供協力

依頼先 新唐人テレビ(中国)

目的 室町時代衣装新旧レプリカ展示と日本の染織技術の紹介

提供動画 室町時代9号「本座絞り」、室町時代12号「辻が花」
桃山時代6号「桶絞り」

◎芸術新聞社「KIMONO EVOLUTION」への画像提供協力

依頼先 シーラ・クリフ(着物研究家)

目的 スタイルブック「KIMONO EVOLUTION」による着物文化の発展啓発

発売日 令和6年1月29日

提供画像 江戸時代初期9号

◎山形県「子ども伝承活動ふるさと塾」への画像提供協力

依頼先 新庄亀綾織伝承協会

目的 「日本の衣服の変遷」講座の資料画像

場所 山形県新庄市養護学校

提供画像 室町時代12号、江戸時代初期5号、江戸時代末期3号

*** その他**

当協会所蔵文献、運営資料のデータ化並びに保存を行った。

- ・昭和中期～平成までの過去議事録等含む資料 650件
- ・寄贈図録等含めた文献 164件

(2) 染織技術等継承事業

日本の染織技術を次代に継承していくために、染織に馴染みの薄い人たちにあらゆる方法でもって伝えることで認知と理解を深め、将来携わる人々を増やす目的で次の事業に取り組んだ。

* 子ども向け染織技術啓発冊子の配布

きものをより身近な衣服として受け止めてもらおうと共に、きものには様々な技術が使われていることをわかりやすく伝え、染織技術の一端を知ってもらうことを目的に小冊子を制作し、今年度は400部増刷し七五三詣りのシーズンに次の通り配布した。

<配布先>

- ・高島屋6店舗(日本橋・新宿・横浜・名古屋・大阪・京都)の呉服売り場
合計300冊
- ・京都織物卸商業組合主催「七五三詣り」(11/11 於:平安神宮) 合計108冊

* 染織文化セミナーの開催

◎「日本の麻(大麻)を考える ―その深く長い繋がり。日本の麻文化の復興―」

日 時 11月16日(木) 14:00~16:00
会 場 からすま京都ホテル2階 双舞の間
講 師 松本 信吾氏((一社)「伊勢麻」振興協会発起人、(株)伊勢麻共同代表)
内 容 日本の麻文化の現状を知り、未来への展望を語る
受 講 料 無 料
広 報 (会員・関係団体・美術館等)当協会より案内送付。
(一般)10/25 京都新聞夕刊に広告掲載。ウェブサイト、フェイスブックで告知。
受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 52名

◎「日本の綿を考える『伯州綿の復興と発展』―地域全体で取り組む和綿産業の復活―」

日 時 令和6年3月14日(木)14:00~16:00
会 場 からすま京都ホテル3階 瑞雲の間
講 師 徳毛 文孝氏、宮間 博一氏(境港市地域おこし協力隊)
内 容 地域社会で栽培する伯州綿の取組みから染織文化の展望について考える
受 講 料 無 料
広 報 (会員・関係団体・美術館等)当協会より案内送付。
(一般)2/29 京都新聞夕刊に広告掲載。ウェブサイト、フェイスブックで告知。
受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 39名

*インターネットミニ染織講座の開催

不特定多数の人々に知識を広めていくため、ウェブサイト上でミニ講座を開設し、解説及びオンライン動画共有サービス『YouTube』を経由して動画配信を行い、閲覧を促した。

◎衣装レプリカ制作プロジェクトシリーズ

- ①「江戸時代初期2号 墨絵工程」(更新日:6月16日)
- ②「江戸時代初期2号 刺繍下絵工程」(更新日:8月1日)
- ③「江戸時代初期2号 金彩工程」(更新日:10月11日)
- ④「江戸時代初期2号 刺繍工程」(更新日:12月21日)
- ⑤「江戸時代初期2号 仕立工程」(更新日:令和6年3月18日)

◎きものの歴史シリーズ

「きものの歴史④ 鎌倉時代1. 桂姿編」(更新日:10月27日)

(3) 染織技術等継承に関わる助成事業

染織技術を継承し一般社会に啓発していくことを目的とし、当協会助成規程に基づき次の事業への助成を行った。

◎KPA 京都プリント振興協会「メイキング・ワークショップ 2024」への共催

会 期 11月10日(金)～12日(日)10:00～17:00
会 場 京都府京都文化博物館別館(中京区三条高倉)
出展者 11社 23組
内 容 染色業に携わる職人の創造力、技術力の向上を図るため、制作の機会、発表の場を提供した。今回は「TU・NA・GU」をテーマに顔料インクでのプリントや転写プリントなど節水や二酸化炭素の排出を抑えるプリント技法による出展を条件とし、SDGs・脱炭素社会を意識し、ものづくりに取り組んだ。当協会からは共催名義使用許可、助成金50万円の交付、京都染織文化協会理事長賞の下付を行った。

入場者数 1,430名

◎映画「お蚕さま セヴェンヌ」製作への助成

公開日 令和7年1月頃予定 ※申請時
製作 「お蚕さま セヴェンヌ」製作委員会
内 容 ロココ時代の伝説の絹「セヴェンヌ」の復興を通じて、職人たちの手仕事を繋ぎ、若い人たちが未来に向かって新たなる展開と発展を実現していく為に挑戦する姿を伝えるドキュメンタリー映画を製作。当協会では2年間

の助成の1年目として令和5年度分助成金50万円を交付した。なお、進捗状態を調査するため、年度毎に1度選考委員によるヒアリングを実施した。

■会員事業

* 会員のための啓発事業

◎セミナー情報の発信

- ・第4回「SDGs パートナーシップ・プログラム」シンポジウム
「“染める”の概念を打ち破る—繊維の新たな可能性とSDGsへの貢献」(11/20 (公財)全日本科学技術協会)

◎展覧会招待

<招待展覧会>

- ・「ルーヴル美術館展 愛を描く」(6/27-9/24 京都市京セラ美術館)
- ・「特別展 雪舟伝説—『画聖』の誕生—」展(2024.4/13-5/26 京都国立博物館)

* 京都プレス事業

当事業は染織品の発展と更なる需要を促すために、伝統的な染織技術と先端技術を融合させた新しい素材の開発と加工に取り組み、市場での反応を調査した後、その技術と情報を会員商社にフィードバックする目的で行っている。今年度も和装素材の新しい提案としてシルクオパール糸の開発並びに織物の制作を京都市産業技術研究所、京都府織物・機械金属振興センターの協力により、引き続き取り組んだ。

* 会員助成事業

歴史ある染織技術を継承し発展することを目的に、会員の企業活動に対する助成金拠出については、令和元年度末に行った資産取崩の影響から脱却できていないことから、今年度は中止した。

令和4・5年度 染織祭衣装レプリカ制作衣装

江戸初期2号「白練緯地竹垣団扇文様振袖」(生地:一越縮緬 技術:手描友禅、墨描絵、金彩、刺繍)

